

●主 な 内 容●

市政一般報告…………… 1～10面
 22年度予算の概要……………11～12面
 福祉分野の2計画が答申……………13面
 おしらせ・4月の相談日……………16～17面
 4月の休日当番医……………20面

市報

発行：千葉県野田市役所（〒278-8550 野田市鶴奉7番地の1・☎047125-1111代表）
 ホームページ = <http://www.city.noda.chiba.jp> 携帯電話用のホームページ = <http://www.city.noda.chiba.jp/k/>

平成22年第1回定例市議会市政一般報告

保育待機児童対策や学童保育所の過密化解消 川間駅北口駅前広場整備などを報告

平成22年第1回定例市議会で、根本市長は、保育所の待機児童対策や学童保育所の過密化解消、市内全域の浸水対策、川間駅北口駅前広場整備などを含む22年度予算案などを報告しました。本号ではその概要をお知らせします。

国の財政運営と野田市の 予算編成の考え方

今議会は22年度の行財政運営の基本となる予算の審議をいただく議会です。開会に当たりまず所信の一端を述べさせていただきます。

22年度予算編成は、政権交代、概算要求基準の廃止、過去最大となった概算要求、事業仕分け、ぎりぎりまで揺れ動いた国債発行規模、子ども手当、暫定税率などの幾つか重要事項の直前の方針変更など、国の予算編成に翻弄（ほんろう）されながらの作業でした。一昨年の金融危機に端を発した景気の悪化に対処すべく、国は昨年来の一連の予算で大幅な

財政出動を伴う景気対策を実施してきました。

多額の赤字国債の発行に依存していることを問題としつつも、景気の状態、雇用の悪化を考えたときやむを得ないものとして、市も、中小企業への資金繰り対策、雇用対策、集中豪雨に対する応急・恒久対策による地元業者への発注増とさまざまな対策を講じてきました。

ところが、昨年9月に政権が交代し、マニフェスト実現の財源確保のためとして21年度第1次補正予算が執行停止となり、9月補正で計上した国の交付金を活用した事業はすべて執行停止、その後も留保せざるを得ない状況が続きました。

切れ目なく行う予定の景気対策が途切れてしまったわけで、その後の景気後退を見ると誠に残念なことです。

12月になり、見込み発車でしたが事業を実施することになりましたが、仕事によっては年度をまたぐものもあり、今議会に繰り越しを提案しています。

1次補正の見直しにより2・9兆円の削減がなされ、マニフェスト実現に使われる予定であった財源のほとんどがその後の景気後退への対応のため2次補正に使われました。

補正内容の多くは1次補正の中味の踏襲が焼き直しで、何のためか執行停止であったか、景気を悪くするために間隙を作ったとしか言いようがありません。しかも、地方支援のためと計上された約3・5兆円のうち3兆円は国税収入の補填に充てられたものであり、実質的な地方支



25年度完成を目指し川間駅北口駅前広場を拡大

援は5千億円ではありませんし、この財源としてマニフェストで約束していたことを反故にして国債を追加発行しています。市としてはマニフェストに反した予算ですが、5千億円を財源として市に交付される「地域活性化きめ細かな交付金」約2億円は市にとって貴重な財源です。しかも、この交付金の考え方は基本的には昨年の地域活性化・経済危機対策臨時交付金と同じであることから、事業の選択は、9月補正と同様の考え方で行い3月補正予算に計上しています。補正予算の中味は議案の中で申し上げます。

22年度の国の予算は、「国の総予算を組み替え。税金の無駄遣いと天下りを根絶すること等新

しい財源は生み出す、そのお金を使いマニフェストで約束したことを実現する」として編成を始めた作業でした。

しかし、1次補正を執行停止して生み出した財源は2次補正で使い切り、マニフェスト実現を盛り込んだ概算要求額は史上最大となり、財源を生み出すために行われた事業仕分けでも1兆円弱しか生み出せず、景気の悪化に伴う税収減があったことは確かですが、暫定税率の廃止、高速道路の無料化、子ども手当の地方負担、年金の見直しなどの多くのマニフェスト違反をし

ながらも、国債発行は史上最大の44・3兆円となった予算です。

今年度の予算は何とか乗り切ったという感じがしています。

しかし、23年度以降の国の予算は最近財務省が発表した資料によれば、国債発行高は22年度予算に盛り込んだ事業・政策の継続を前提として、今の衆議院議員の任期である25年度には55兆円を突破し、子ども手当の完全実施などの施策を加えるともっと膨らむことになると思っています。

このように国の状況は大変な財政危機にありながら財政再建の道筋が見えていない状況です。

22年度の予算編成

市の22年度予算編成は、国・

県からの歳入に期待することはできず、また歳入の落ち込みも大変厳しいことから、従来よりも厳しいものとなりました。

予算の規模は、一般会計が44億6千600万円で、前年度と比較して22億2千万円、5・3パーセント増ですが、主な要因は、子ども手当によるものです。

企業会計を含む全会計では、784億7千102万円と前年度と比較して18億2千564万円、2・4パ

ーセントの増です。

歳入について申し上げます。市税収入は、固定資産税や税率改正によるたばこ税の増があるものの、個人市民税、法人市民税の減が見込まれるため、全体として1億4千600万円の減となっています。

地方交付税は、地域雇用創出推進費が皆減されたものの、活性化推進特例費と雇用対策・地域資源活用臨時特例費の皆増などがあり、基準財政収入額における

市税収入の減もあり旧野田市分も交付見込みとなったことから、4億千700万円の増、国税収入の減を反映して臨時財政対策債も5億700万円の増となっています。

また、子ども手当創設に伴う国庫支出金17億7千万円の増、地方特例交付金千100万円の増はあるものの、地方譲与税900万円、利子割交付金2千万円、地方消費税交付金2億6千700万円の減等を見込んでいます。

このように歳入状況は厳しいものがありますが、市民の行政に対する要望は多種多様です。

また、本年6月で合併後7周年を迎えますが、20年度から後期基本計画としてスタートした総合計画に沿って、合併に際して

市民に約束した、行政サービスは基本的にその水準は落とさないという新野田市の行政運営の基本的な考え方を確実に履行しなければならぬと考えています。

そこで真に必要な部門に重点配分するための集中改革プランを確実に履行しつつ、経費の聖域なき見直しを行い、市民が本当に合併してよかったと思えるまちづくりを目指し、市の将来を見据えた予算編成を行いました。

なお、22年度は、旧野田市分普通交付税が交付される見込みであることから、プライマリーバランス（財政収支の均衡）の考え方の見直しを行い、18年度までと同様に、15年度9月補正後の市税等の一般財源で返済する普通建設事業分25・7億円から、合併特例債のうち交付税措置されない3割相当の6・3億円を控除した19・4億円を起債上限額とし、22年度の市債9億4千700万円は、この額を十分下回り財政規律を厳格に守ったものです。

ここで、今年度の国の予算編成に関連して2点について私の考えを申し上げます。

◆子ども手当に対する考え方

私は、国が今回実施しようとしている児童手当を制度の中に

4月1日 市の組織を見直し 「保育課」や「道路建設課」など新設

市では、市民の皆さんのニーズに対応するため、4月1日に組織の見直しを行いました。

子育て支援を充実するため、児童家庭課・人権施策推進課・男女共同参画課をまとめた児童家庭部の新設や、児童家庭課を子育て支援や児童虐待の相談、児童保育所などを担当する児童家庭課と、保育所やことば相談室などを担当する保育課に分け、

「保育課」や「道路建設課」など新設

専門的に取り組みます。

また、道路の補修は管理課、道路の新設は道路建設課で対応することや、都市計画部と都市整備部を統合し、教育総務課を生涯学習部に編入、さらに工事検査課を廃止し、総務部内に工事検査担当を設けました。

今回の組織改編に伴い、一部業務の窓口を変更しましたので、

主な業務の窓口変更	変更後 4月1日から	変更前
・既存道路の補修 ・既存道路への交通安全施設の新設・補修	管理課	管理課／土木課
・河川水路排水施設関係	管理課	土木課
・道路の新設・改良	道路建設課	土木課／街路課 ／新市建設計画 事業担当
・屋外広告物関係	都市計画課	管理課
・国民健康保険の出産育児一時金	国保年金課	市民課
・特別児童扶養手当	社会福祉課	児童家庭課
・乳幼児医療費助成	児童家庭課 関宿支所	保健センター／ 関宿保健センター

詳細は表をご覧ください。

【問合せ】窓口変更は行政管理課、業務内容は変更後の窓口へ

組み込んだ子ども手当の仕組みに反対です。予算を計上しないことも考えましたが、児童手当が法定受託事務で、子ども手当も法定受託事務としていることから拒否できないものとしてやむを得ず予算計上しています。

反対の理由を述べておきます。少子化対策は、子どもを産み育てたい人がそうできる社会をつくることで、そのためには、子育て家庭への経済的支援、保育所整備などの保育サービスなどの現物給付、働きながら子育てできる働き方の見直しなどがバランスよく進められることが重要です。

子ども手当の支給により現金給付だけを見れば、先進国並みになると言われていますがあまりにもバランスが悪い。仮にミニファーストどおり子ども手当を全額国が負担し児童手当を廃止していれば、財源をどう確保するかは疑問ですが、私は反対はしません。そのときには児童手当の市負担分を子育て支援の特定財源として使うつもりでした。

新エンゼルプランを22年度から実施することになっています。その中で待機児童解消対策、過密学童解消対策などのハード事業、母子家庭自立支援、要保護

児童へのきめ細かな対応などのソフト事業等新たに進めるべき仕事が多々提案されています。

ランニングコストも含めてこれらの施策を実施するための財源にしたいと考えていました。

児童手当に対する市の負担分は21年度ベースで約3・2億円、交付税、特例交付金により措置されている分がありますが、それでも相当の額が市の持ち出しです。

22年度は仕方なしに予算措置しましたが、改めて行うことになっている23年度以降の制度設計について国に強く意見を申し上げていくつもりです。

◆八ツ場ダムに対する考え方

次に「コンクリートから人へ」というミニファーストに関連して八ツ場ダムに対する考え方を申し上げます。

国土交通大臣から中止の意向が示された昨年、江戸川改修促進期成同盟会会長として国に対して要望書を提出しています。

その主な点は、八ツ場ダムを中止しても下流地域の住民は安心できるのか情報を開示してほしいというものです。

江戸時代舟運を意識して整備された江戸川は明治になっても

洪水は利根川へという発想で改修が進みませんでした。

しかし、明治43年の大洪水を機に江戸川も舟運から洪水防御の川へと計画を変えました。そのときに川幅を100メートルから250メートルに拡幅して堤防も強化しました。

市でも東宝珠花地先や岩名地先などで住居移転を余儀なくされた方がたくさんいます。

昭和22年のカスリーン台風の後でさらに400メートルに拡幅されました。このために埼玉県側を中心に約千600戸の住居が移転しています。

しかしながら、洪水対策として河川の拡幅だけでは足りないとして同時に上流のダム群の建設が計画されました。

その一つが八ツ場ダムです。毎秒2千400トンの洪水をカットする機能があると言われていきます。カスリーン台風の際には雨が降ってなかったと聞いています。カスリーン台風と同じ降雨状況では効果が無いのは当たり前です。

私たちが知りたいのは過去のどの洪水のパターンであったとしても下流域が大丈夫という保障です。中央防災会議からは台町地先

で破堤した時には野田市で3千300人の死者が出るという資料も出ています。

安心できる材料がないままミニファーストで約束したからと言って中止するのは早計だと考えています。情報を公開してもらい、安心できるなら良いが、安心できないなら安易に中止しないでほしいとこれからも主張していく所存です。

◆応急・恒久的の排水対策事業

20年度から継続して取り組んでいる集中豪雨に端を発した排水対策事業の実施状況と今後の見込みを申し上げます。

20年8月の記録的な集中豪雨の際、市内全域で住宅の浸水被害や道路冠水被害に見舞われたことから、20年度12月補正、3月補正、21年度当初、9月補正で計上しています。

さらに今議会の補正予算できめ細かな交付金を活用した七光台小付近のポンプ新設、六丁四反排水路改修、山坪団地の排水ポンプ改修、柏寺排水路改修、台町東ポンプ新設など10か所の工事を計上し、さらに22年度当初予算に六丁四反排水路調整池用地買収、山坪団地の排水整備、親野井あさひ会団地排水整備、



谷中排水路浚渫など11か所の予算を計上しています。

まとめますと排水整備箇所は市内全域で42か所、内訳として、恒久対策として、六丁四反、山坪排水路、柏寺排水路、親野井あさひ会団地、堤根字中根前、下三ヶ尾字新井の6路線、側溝整備等の排水整備10か所、冠水箇所の道路高上げ4か所、ポンプの新設4か所、改良1か所、バイパス管や集水樹の増設、取付管の拡張等の排水改良9か所、水路等の浚渫8か所です。

今後の恒久的な雨水排水整備は、南部4号幹線、六丁四反排水路改修を継続して行い、親野井あさひ会団地を24年度に、柏寺排水路を25年度に完成させるべく努力していきます。

加えて、上花輪地区の雨水排

水施設として老朽化した浅間下排水ポンプ場を22年度から5か年計画で改修していきます。

◆福祉関連の計画策定

また、21年度で幾つかの福祉関係の長期計画の計画期間が終了します。次期計画を既に策定か、現在策定手続中です。

具体的には、新エンゼルプラン、ひとり親家庭支援総合対策プラン、地域福祉計画、人権教育・啓発に関する野田市行動計画改訂版、第2次野田市男女共同参画計画の各計画ですが、それぞれ22年度がスタートの年になります。

具体的内容は後ほど申し上げます。

ますが、それぞれの計画の策定の趣旨が計画期間内に確実に実現できるよう努力していきます。

◆廃棄物処理施設の建設

長年の懸案の廃棄物処理施設も、建設に向けて鋭意努力していきます。

まず、新不燃物処理施設は、

既に用地を土地開発公社により確保済みで、現在予定地の目吹地先周りで環境アセスメント調査を実施中です。

また、高度技術提案型総合評価落札方式による入札契約手続における落札者決定基準を設定する際に市民意見を反映させる

ための懇談会を開催しました。早急に建設に向けての手続を進めていきます。

新清掃工場建設は、市の用地選定の考えは説明していますが、地元自治会からは予定地への建設計画が白紙撤回されなければ話し合いに入れないということまで議論が止まっています。

市制施行60周年記念 シンボルマーク・キャッチフレーズ 24の市民提案事業が決定

昭和25(1950)年に県内8番目の市として誕生した野田市は、今年5月3日で60年になります。

市では、「市制施行60周年記念事業実行委員会」を設置し、皆さんから応募いただいた市民提案事業を検討し、最終的に24の事業を決定していただきました。

また、シンボルマークの最優秀賞に野沢和子さんの作品が、キャッチフレーズには石原典武さんの「住んで良かった ほのほの野田市」がそれぞれ決定しました。

◆市民提案事業の一覧(五十音順)

小津安二郎映画祭in野田／親子ふれあいテニスイベント／ガイドサミットin野田／記録映画「葦牙

あしかびー子どもが拓く未来」上映会／グループ風、野田男声合唱団ジョイントコンサート」吉岡弘行作品を歌う」劇団彩「山中直治物語」公演／第21回サンスマイル「出発。たびだち」／第9回市民ふれあいハートまつり／醸造の街で日本酒・再発見／食と農のつながりを広めるシンポジウム／第2回白いうた青いうたフェスティバルinのだ／第一回新古典朗読劇場／新生チャレンジ江戸川カヌー体験／定期コンサート／第10回なつメロ大会／野田市子どももつともつプロジェクト」野田市の子ども達共演による谷桃子バレエ団公演「くるみ割り人形」／野

田市民で歓喜の歌「第九」を歌おう／野田を体感！野田を開拓!!／V連のつどい／フルートコンサート「笛吹きたちの遊び」／みんなであつくる野田市の切手／60周年の大空へ／わがまち再発見パートII



最優秀賞のシンボルマーク

でに実施する事業で、60周年記念事業として新たに実施するか、従来から同じ内容で実施している事業で、開催日の2か月前までに、お申し込みください。

事業承認後は、事業名

に「野田市制施行60周年記念」と付けることや、キャッチフレーズ・シンボルマークを使用できます。

申込みは、応募申込書(市役所3階秘書広報課、関宿支所、各出張所、各公民館で配布。市ホームページからもダウンロード可)で、〒278-8550野田市役所秘書広報課内「市制施行60周年記念事業実行委員会事務局」へ郵送か、持参するか、FAX7122-11557、市ホームページからも応募できます。

◆冠事業を募集
また、金銭的な助成を受けず、市制施行60周年を周知するとともに、祝意を表する事業(冠事業)を募集しています。

対象は、平成23年3月31日ま

◆新たな施設の運営

現在準備中の新設学童保育所

は一部を除き社会福祉協議会に委託しますが、学校教室を利用する8か所は10月から、単独施設を建設する3か所は23年4月から運営を始める予定です。

また、(仮称)野田市春風館道場は3月末に完成しますので、準備期間を考慮し、6月1日から開設します(春風館道場の利用申込は14面参照)。

◆市民参加を制度的に保障する取組み

パブリック・コメントは、3年間の試行結果を踏まえ、「野田市パブリック・コメント手続条

例(案)がまとまりましたので、パブリック・コメント手続を実施し、6月議会に条例案を提案したいと考えています。

また、各種計画などの策定過程から実現過程まで実効性のある市民参加を進めるためには、パブリック・コメントに加え、市政に係る重要事項は直接市民の意思を確認することができると考え検討を始めています。

◆22年度は市制施行60周年
記念事業は現在の経済状態を

考え、できるだけ経費を掛けずに手作りの事業を実施します。

1月28日の実行委員会で、24の市民提案事業が採択され、シンボルマークとキャッチフレーズの最終審査をお願いし、後日、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞5点が決定しました。

市では、これらの事業とは別に、金銭的な助成は一切受けず、市制施行60周年を周知し、祝意を表する事業として市民自らが実施する冠事業を1月4日から募集を始め、市としても担当課で予算措置する事業で、60周年

の期間中に実施される事業は、同様の趣旨から市の冠事業として実施したいと考えています。

11月に利根運河通水120周年を記念して国、県、周辺3市などで組織する実行委員会方式で野田市が事務局となって実施する「これからの運河を考える全国運河サミット in 利根運河」を市としても記念事業と位置付け、隣接する江川地区の素晴らしさを併せてPRしていきます。

また、5月6日、7日に市民会館で第68期名人戦第3局が行われ、対局の内容はNHKで放映され、合わせて全国すべての県で日本将棋連盟による大盤解説会も催されます。記念事業としてこの機会を通じて野田市を県内外にアピールしていきます(名人戦の観戦募集は15面参照)。

さらに、昨年末鈴木貫太郎元首相のご遺族から寄贈された資料を鈴木貫太郎記念館で一般公開し、翁の威徳を偲びつつ、合わせて平和の大切さを再認識するための講演会などを冠事業として実施していきます。

続きまして、一昨年の市長選挙で公約した10の政策の柱について12月議会以降の状況と来年度重点的に実施する事業につい

中心市街地の再活性化とコンパクトシティの実現

政権交代後の国の動向を見極める必要から一時作業を見合わせていましたが、国の関与を大幅に見直すという方針に基づき検討が進められていました基本計画認定制度は、存続されることになりました。

したがって、中心市街地活性化協議会と協議会の必須構成員であるまちづくり会社の設立は、依然として認定の前提条件として必要ということになります。

また、まちづくり会社が、商業活性化施設の整備資金として活用する予定の「戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金(戦略補助金)」は、22年度予算で対前年度比で4割強の大幅縮減となりました。

しかも、将来的には、国から地方への一括交付金の中に組み込まれる可能性があります。不透明であることに変わりはありませんが、仮に形を変えるにしても存続することとなりました。

以上のことから、まちづくり会社設立に向けた動きを止める必然性はないと判断し、今後の

作業再開は、商工会議所や地元事業者等と協議、調整して方向性を決めたいと考えています。そのため、最低限の予算を計上しています。

◆イトーヨーカ堂の再出店

開店の際に完了していることが条件の県道結城野田線の西駅前線への右折車線の設置時期が遅れ、一方でイトーヨーカ堂の出店計画の味が不透明な状況ですが、19年3月の土地売買契約の締結から3年が経過することから、22年度早々に土地を引き渡す方向で協議に入りたいと考えています。

また、東駅前線、東口駅前広場等東地区の公共施設整備を合併特別債の期限である25年度末までに完成させることができるよう着実に整備を進めていきます。

持続可能な農業施策の確立と食の安全の確保

◆もみ殻牛ふん堆肥と剪定枝等の堆肥を混合した混合堆肥

20年度に回収したもみ殻により21年度に2千100トン生産予定で、21年12月末現在で千687トンを販売し、21年度回収したもみ殻による混合堆肥の生産量は、約2千600トンの予定です。



減農薬のお米は「ゆめあぐり」で販売も

混合堆肥は、現在2トン当たり千500円という低価格で販売し、代金は全額酪農家の収入としています。もみ殻回収と粉碎の市のコスト負担を勘案すると、受益者負担を求めないことは、税の使い方として公平性を欠くこととなりますので、農家が負担できる範囲の中で、ある程度の価格の見直しを行いたいと考えています。

◆黒酢を使った米作り

昨年の生産が順調で、生産者、消費者それぞれから高い評価を受けています。21年度は、3地区218ヘクタールで取り組みましたが、22年度は4地区290ヘクタールで取り組んでいきます。混合堆肥を使った野菜や黒酢農法で生産したお米を、より付加価値を付けた商品にする必要があります。

そこで、新たに野田市ブランド農産物認定制度を設けることとしました。ちばエコ農産物の認証を受けたもの、エコファーマーが混合堆肥を使って生産したなどの、優れた品質や特性を持った農産物を野田ブランド農産物に認定するとともに、野田市農産物ブランド化推進協議会を設立して周知宣伝と販路拡大の取り組みを行っていくこととします。

新市建設計画の 確実な実現

合併関連事業33のうち、野田市陸上競技場新設、清水公園駅自由通路整備、梅郷駅西口駅前広場整備、同東口アクセス道路整備、同自由通路整備、三ツ堀里山自然園整備、関宿複合施設いちいのホール整備、関宿総合公園整備、消防署関宿北出張所など16事業が完成か、完成予定です。

また、川間駅北口歩道整備、愛宕駅東西アクセス道路整備、堤台柳沢線整備、江戸川左岸道路整備、六丁四反排水路整備、次木古布内線整備、柏寺排水路整備など16の事業を実施中です。

さらに、22年度から川間駅北口駅前広場整備に取り掛かります。22年度は未完成のものを早

期に完成すべく継続中の事業と新規の事業合わせて11億7千20万円の合併特例債を発行して事業を実施します。

◆まめバス

利用状況は、昨年12月18日に運行開始からの利用者が延べ180万人に達しましたが、最近の利用者は減少傾向です。

このような状況から、コミュニティバス検討専門委員会で検討をしていますが、これまでの検討で、利用者の少ないルートや最終便の利用者の少ないルートの短縮か廃止などの6項目に絞って、今後乗降客の調査や相互の関連性を検討することとし、次回の会議で、これらの絞った検討結果やそれに伴う運行ルートと、おおよその収支状況をお示しし、さらに検討していただく予定です。

◆学校耐震補強工事

岩本小学校の耐震設計と耐震工事は、公共投資臨時交付金の執行が一時停止された結果、執行留保を解除した12月以降の作業では設計はできても、夏休み予定の工事が間に合わないため実施を先送りしました。

しかし、第一中学校管理・特別教室棟の耐震工事設計を21年

度実施していることから、交付金を活用し、耐震工事を前倒しして実施することとしました。

また、22年度は、第一中学校

普通・特別教室棟の耐震補強設計、南部小学校屋内運動場の耐震診断を実施していきます。

小中学校のトイレ改修工事は、福田第一小学校で実施し、エアコン設置は、清水台小学校ほか1校のコンピュータ室に設置していきます。

児童数が増加している北部小

安全安心な まちづくりの推進

◆災害時要援護者支援計画

2月1日現在で、取り組んでいる自治会など37団体、うち個別避難支援計画まで整備した団体32団体、要援護者登録者数は269人です。

◆自主防災組織の組織化

21年度、8つの自主防災組織が新設され、合計126組織、世帯数での組織率は38・4パーセントです。

◆まめばん

「北部まめばん」が、昨年10月1日から業務を開始し、「南部まめばん」とともに地域の安全安心に寄与しています。

引き続き、第3のまめばんとして、旧愛宕交番に設置を検討するための経費を22年度予算に計上しています。

また、市では、現在、市内全域で約1万8千500灯の防犯灯を設置していますが、22年度に新たな試みとしてLED防犯灯を20灯設置する予算を計上し、明るさや作物への影響を調査研究していきます。

都市基盤・生活関連 施設の整備

梅郷駅東口で、北側方面から駅への利便性の向上を図るため、仮設駐輪場として利用していた用地の一部を買収し進めていた自転車歩行者道は、21年度内に供用開始できる見込みです。

梅郷西駅前線は、昨年末山崎吉春線側（1工区）の用地取得が完了し、引き続き県道側（3工区）部分の用地取得を進め、早期に全線を完成させていきます。

次に、千葉県が施行中の都市計画道路清水上花輪線（県道結城野田線）は、新たに清水公園駅前線との交差点の隅切部の整備を含めて、南側に約256メートル延伸する事業計画が昨年11月に認可されました。これにあわせて、清



梅郷駅東口仮設駐輪場を自転車歩行者道に

福祉・医療の充実

第4期シルバープランで設定した、地域密着型サービスの整備状況は、第3期から繰り越している南部・福田地区の小規模特養1施設は応募がないため、22年度整備分として募集を行っていきます。

また、認知症デイサービスは、関宿地域で第3期に選定した1

施設を開設中央・東部地区の1施設は、再募集で応募があったため、22年度開設に向け、協議を進めています。

北部・川間地区の1施設分は、再募集しても現時点で応募がありませんので、22年度整備分として、募集を行っていきま

す。なお、地域密着型の小規模特養の整備が進まないことから、

次期計画を前倒しして、広域型の特別養護老人ホームを23年度に1施設70床の整備をすることとし、加えて既存の施設を40床増床することといたしました。

この増床分は、経営の厳しいとされている50床前後の事業者に対して照会を行いましたところ、1事業者から22年度整備の意向が示されたため、現在千葉県と協議を進めています。

◆新エンゼルプラン

次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画として位置付けられ、22年度から27年度までを計画期間とする後期計画として策定しています。

国の指針に大きな改正がないことから、基本理念と基本目標は前期計画を踏襲し、施策に反映すべき基本的な視点として新たに加わった「仕事と生活の調

和の実現」と「すべての子どもの家庭への支援」を踏まえ、民間活力を活用した多様な保育サービスの提供、学童保育所の過密化解消と運営の適正化、母子保健との連携による適切な児童福祉へのつなぎ、子どもの勤労意識や価値観の育成、ひとり親家庭への支援、児童虐待の早期発見・対応などに取り組みことを施策

として明記し、各論で個別の事業を網羅する形となっています。

◆野田市ひとり親家庭支援総合対策プラン

上位計画である新エンゼルプランに時期を合わせて見直しを行っています。

プランの位置付けは、母子及び寡婦福祉法に基づく「母子家庭及び寡婦自立促進計画」の第2次改訂版とし、経済的な自立に向けた支援の総合的な施策の指針となり、市の無料職業紹介所と連携した母子家庭向け求人情報の開拓と情報を蓄積して提供する事業の導入、就職活動時に支援者を派遣する母子家庭日常生活支援事業の拡充などの新たな事業を位置付け、これまで

も取り組んできた職業訓練の実施、職業能力開発のための給付金支給などとともさまざま



経済的自立に向けた支援の充実を図ることとしています。

◆野田市地域福祉計画

17年度から21年度まで「共 handsを携えて希望を持てる街」を目指して取り組んできましたが、今後5年間を計画期間とする改訂版を、21年度内の策定に向けて作業を進めました。

◆野田市男女共同参画計画

21年度をもって計画期間が終了することを踏まえ、22年度からの「第2次野田市男女共同参画計画」を策定中です。現計画の成果を生かしながら改めて整理し、時代の変化に即した計画とし、野田市総合計画や各分野別計画と整合性を図りながら、各施策を推進したいと考えています。

◆人権教育・啓発に関する野田市行動計画

22年度を初年度とする改訂版

を現在作成中です。

本計画は、基本法律等の改正がないため、現行動計画の取組みを検証し、これまでの課題や施策を精査する形で作成しています。今後とも「個性豊かなまちづくりを行なう人権・平和尊重都市宣言」の理念の実現に向け、各施策を推進したいと考えています。

◆障害の「害」のひらがな表記

22年度から実施予定の「障害」の「害」のひらがな表記への変更は、文化庁の漢字小委員会において、石偏の「碍」の字を常用漢字に追加することが検討されていることから、国の動向を見極める必要があると判断し、一時作業を見合わせています。

◆子ども手当創設に伴うひとり親家庭支援事業の見直し

4月から実施予定の子どもの手当は、「子育てに係る基礎的経費」についての包括的支給で、中学校までの子どもを持つすべての家庭全体の子育てに係る経済的負担が大きく軽減されることから、市が独自に実施してきたひとり親家庭支援事業は、役割を終えるため見直しを行おうとするものです。

具体的には遺児手当を廃止し、「ひとり親家庭等医療費助成制

度」は、22年4月診療分から、通院・薬局の診療・調剤報酬明細書1件につき千円までの自己負担分と、入院時の食事療養費と生活療養費の標準負担額を助成対象外とします。

以上のことから、今議会に「野田市遺児手当支給条例を廃止する条例」と「野田市ひとり親家庭等医療費助成金支給に関する条例の一部を改正する条例」を提出しています。

なお、本年8月1日から父子家庭の父に児童扶養手当が支給予定であることから、6月議会で市が独自に実施している父子家庭等支援手当も整理予定です。

◆国民健康保険事業運営

1月27日の国保運営協議会で、税率改定などの対応の審議結果をまとめた意見書が提出されました。

主な内容は、21年度の財政赤字に対処し、運営経費を加入者の応分の負担により賄うといった保険制度の相互扶助の基本原則にのっとり、国保税率を引き上げることはやむを得ないとするものです。

今回の税率改定は、21年度の赤字見込分に加え、22年度、23

年度の収入不足に対応するものとし、軽減割合を6割・4割から7割・5割・2割に拡大することで低所得世帯の負担増に配慮しつつ、税率の引上げ幅を圧縮すべきとしています。

この考えに基づき、22年度の具体的な税率改定案として、医療分が所得割7・38パーセント、資産割5・0パーセント、均等割2万6千700円、平等割2万6千円、後期高齢者支援分が所得割1・84パーセント、均等割1万円、介護分が所得割1・50パーセント、均等割1万2千200円という案が妥当であるとの結論に加え、一般会計のその他繰入れを一時的に増額し、可能な限り税率の上昇を抑制するとの要望が特に付記されています。

要望を受け検討した結果、子ども手当創設に伴い、ひとり親家庭支援事業等の見直しで減額できた財源を使い、暫定措置として制度外繰入れを22、23年度に限り1億円ずつ増額することとし、医療分の所得割を7・16パーセントに、均等割を2万6千200円に、平等割を2万5千円に引き下げることができました。

◆後期高齢者医療の保険料
22年度が見直しの年に当たり

ます。昨年末から千葉県後期高齢者医療広域連合が県との協議などを重ねた結果、22、23年度の保険料は賦課総額で8・41パーセントの上昇となりました。広域連合議会の議決により決定した具体的な保険料率は均等割額を3万7千400円に据置き、所得率を7・12パーセントから7・29パーセントへ引き上げるといいます。

教育の充実と 青少年健全育成の強化

全国学力・学習状況調査の結果が全国に比して極めて低位であったことを受け、児童生徒の「確かな学力」の定着に向けた授業改善や授業時間の確保が喫緊の課題と考えています。

そこで学力向上対策として、授業や放課後等の補習で、個に応じた指導を充実させていきます。具体的には、将来教職を志望する学生によるインターンシップや地域の方々による支援ボランティアを導入し、学習支援を行っていきます。

すでに、市内中学校2校で始めており、今後、さらに拡大していきたいと考えています。

また、キャリア教育職場体験

は、事業所へのアンケートから5日間連続での受け入れが難しい事業所も多く、生徒も複数の事業所で職場体験を行うこともあり、連続5日から3日への変更を検討していきます。

部活動や家庭学習は、保護者と学校との十分な協議を踏まえ、適正な在り方を校長会と協議し、学習時間が確保できるよう調整していきます。

なお、家庭学習時間が全国に比して短い実態を踏まえ、家庭学習の手引書を各校に配布し、保護者や児童生徒への啓発を積極的に行っていく予定です。

◆学校給食検討委員会

委員の皆さんには約1年半にわたり真剣な議論を重ねていただき誠にありがとうございます。その成果を2月13日の委員会で意見書としてまとめたいいただきました。

意見書の主な内容は、①給食の回数は、これまでどおり年間188回の完全給食とし、弁当の日はそれ以外に設定すること、さらに、食材費の値上がりへの対応策を検討すること、②地産地消の推進では、黒酢米や江川米の供給を進めること、③給食費の未納対策は、法的措置も含めた対

応をすることとし、「給食申込書」の提出はすべての児童等の保護者を対象に22年度から実施すること、④賄材料費の管理

は、野田産米への補助を教育委員会が一括管理し清算する方式とし、新たに市内小中学校等の保護者を対象に設置する「(仮称)学校給食運営委員会」で、賄材料費のこと、そのほかに給食選択制実施は必要ないことなどの意見をまとめていただきました。

早速、米飯給食における野田産米は、10月より黒酢農法による「ちばエコ米」や、野田自然共生ファームによる有機栽培に近い江川産米を、千葉県給食会を通さずに、直接JAちば東葛が集荷・精米したものを購入したいと考え、供給システムの構築を進めるための経費を22年度予算に計上しています。

このほかの意見も、内容を基に学校給食の適正な運営を進め、子どもたちに安全安心で栄養価を確保した給食の提供ができる

寄 附

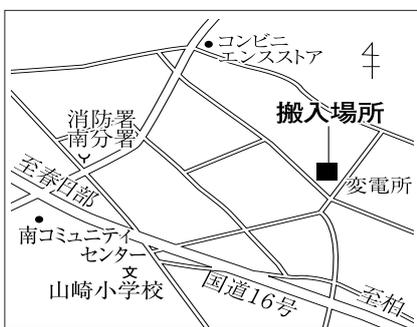
- ◆社会福祉施設整備基金に…▶32万5,125円=野田ガス株式会社取締役社長今成英明様(宮崎)▶10万円=浦邊禮子様(目吹)▶100万円=小澤みち子様(上花輪)▶10万円=野田商工会議所女性会様(中野台)▶10万円=倶楽部あしながおじさんの会代表西村久行様(七光台)▶10万円=良恵男会会長関口忠司様(中根)
- ◆野田市鈴木貫太郎記念館資料に…▶鈴木家ゆかりの資料22件=鈴木道子様(文京区)
- ◆野田市東部公民館備品に…▶ワイヤレスアンプ、マイク一式(18万7,000円相当)=友友会会長館岡定吉様(柳沢)

よう、取り組んでいただきたいと思います。

ごみの減量とみどり豊かなまちづくりによる環境の保全

新不燃物処理施設の整備は、現在の不燃物処理施設の稼働期限が3月末までであることから、新不燃物処理施設が稼働するまでの期間は、不燃ごみを分別することなく大型車両で搬出することとしました。

■西三ヶ尾の不燃ごみ搬入場所



このため、西三ヶ尾地先の再

資源化事業協同組合使用敷地内に不燃ごみの仮置場を整備しました。現清掃工場への不燃ごみの持込みは3月12日までとし、15日からは、仮置場に搬入することとしました。

行政改革の徹底

集中改革プランに基づき、計画的かつ積極的に行政改革を推進しています。

◆組織の見直し

3月31日にレイアウト変更作業を集中的に実施し、4月1日から新体制で業務ができるよう準備を進めてきました。

なお、臨時組織の中心市街地活性化基本計画策定プロジェクトチームは、解散し、新たに特命担当として民生経済部に（仮称）中心市街地活性化基本計画担当を配置することとしました。

また、定額給付金室は、事業終了に伴い廃止することとしました。

◆職員削減計画の進捗状況

現時点での本年4月見込みは千118人となり、目標職員数の千123人を5人上回る削減を達成することができました。

◆地域手当の支給率

制度完成年度の22年度までに

国基準3パーセントへ引き下げることを目指し、職員組合と交渉を続けてきましたが、本年4月から支給率を3パーセントにすることで合意しましたので、今議会に関係条例案を提案しています。

◆職員対象の行動計画の策定

次世代育成支援対策推進法に基づき市は特定事業主として、職員を対象とした行動計画を策定することが義務付けられていますので、22年度からの後期計画を策定しました。

計画では、子育てをしやすい環境の整備と女性職員の登用の促進を図るため、育児休業を取得した職員の給料決定に係る復職時調整期間率を引き上げるとともに、職員の妻の出産に係る特別休暇取得可能期間や子育て支援に係る対象を「中学生」まで拡大するなど、仕事と生活の調和の一層の充実を図ることとし、今議会に関係条例案を提案しています。

◆臨時・非常勤職員の任用等の見直し

非常勤一般職として位置付ける学童指導員ほか24職種は、1月から2月にかけて各担当課で選考試験等を実施しました。

学童指導員は、16年3月以前雇用指導員11人に主任的指導員

選考試験を昨年12月3日に実施し、10人が受験し、全員が合格となっております。主任的指導員公募は、1月24日に試験を実施し、13人の応募があり、8人を合格としています。

◆指定管理者制度

（仮称）野田市春風館道場は、選定委員会で、「NPO法人野田春風会」が指定管理者候補者に選定されましたので、今議会に関係条例案と指定管理者の指定の議案を提案しています。

4月から導入する清水保育所とあおい空は、1月から順調に現場引継業務を行っています。

あすなる職業指導所は、利用者増に伴い、新たに支援員1人を増員したいと考え、また、郷土博物館は、22年度に新たに開設する（仮称）野田市春風館道場と、近接しているロケーションを生かした、連携事業を展開するため及び将来的に既存施設の活用を図り、収蔵品の収蔵庫を展示スペースとしても活用する方向で検討中であることから、新たに学芸員1人を増員したいと考え、両施設の職員増に伴う関係予算を計上しています。

また、設定済みの債務負担行為の期間と合わせて、それぞれ

の増加分を債務負担行為に計上しています。

次に、22年度から利用料金制を導入する岩木小学校老人デイサービスセンターのほか、野田市心身障害者福祉作業所も、報酬収入のみで運営可能となったことから、利用料金制を導入したいと考えています。

また、農産物直売所「ゆめあぐり野田」も、当初予想より販売が順調であることから、利用料金制を導入したいと考えていますが、岩木小学校老人デイサービスセンターと同様に、当面、利用料金のみでの運営は困難なため、不足する分は指定管理料が必要となります。

このため、今議会に関係する条例案を提案しています。なお、指定管理料は、設定済みの債務負担行為の限度額内のため債務負担行為の変更はしません。

諸般の報告

◆公契約条例

12月24日に事前事業者説明会（178事業者等が参加）を実施するなど、準備を進めてきましたが、2月1日に条例を施行しましたので、庁舎の清掃等対象となる



15件の業務委託について、2月26日に入札等を執行しました。

入札の結果ですが、提出された労働者配置計画書では、従事労働者の賃金は、15件の業務委託入札参加者全員が時給829円を上回る額を提示し、公契約条例の趣旨は、事業者にも理解されたと考えています。

また、建設工事は4月以降に発注となりますが、現時点では5件程度を見込んでいます。

◆柏廃材処理センター付近での排ガス問題への取り組み

19年4月の当施設稼働開始当初から、施設付近での排ガスなどの苦情が県や市に頻繁に寄せられています。

市では、21年9月に行った健康被害に関するアンケート結果を公表し、県に報告するとともに

に、産業廃棄物処理施設の許可機関であり、指導機関でもある県に対し、再度徹底した調査指導を強く要望してきました。県はこの要望を真摯に受けとめ、11月20日から約2か月間、柏廢材処理センターの隣接地で、大気測定車「おおぞら」を配置し、風向、風速を始め、大気中の二酸化硫黄や窒素酸化物の常時測定を実施しています。

さらに、1月29日には、ばい煙やVOC(揮発性有機化合物)排出量の測定も実施しています。

それぞれ現在分析中で、まもなく結果が判明するという報告を受けています。排出基準を上回るようなことが明らかになった場合は、再度稼働を停止するなどの対策を県に強く求めたいと考えています。

これまで市としては、定期的な見回りを行い、さらに、市民からの情報があり次第、その都度現地を確認し、県に情報を提供し、また、県が実施する立入りにも同行し、分析試料の採取にも協力してきました。

しかし、産業廃棄物処理施設に係る業務は本来県の仕事だということや、権限移譲を受けた結果市にまかせきりにされては

困るという考えから県に対し、実効ある監視の強化を求め、廃掃法に基づく立入権限の移譲を受けていませんでした。

ここに来て、県が自らの責任として積極的に取り組みを強化する姿勢を見せていることから市としても施設の稼働状況を迅速的確に把握するため、立入検査の権限の移譲を受けることとし、協議を県と開始しています。

◆女性特有のがん検診推進事業
事業開始に際し21年度限りとのことでしたが、国の22年度予算案に引き続き事業費が計上されています。

市としても、厚生労働省の方針に沿って、22年度も継続して実施していきます。

◆字入り組み・飛地の解消
中野台字谷向と堤台字畔ヶ谷の飛地の字変更は、本年1月1日から大字野田とする効力が発生し、両地区合わせて115世帯の住所が変更されています。

そのほかは、三生桜台地区は「字・地番変更」の方法により地区内に新大字「桜木」と新地番の設定や、桜台自治会で地区内の清水、上花輪、中野台の飛地を周辺の大字桜台に変更することを、23年1月1日実施に向

けて都市計画審議会への諮問、議会への付議の手続きを進め、野田梅郷自治会は、自治会役員の要請により、「字整備の案内文」の班回覧を実施しています。

◆野田地域職業訓練センター

事業所で働いている方や職を求めている方々に、各種の職業教育や訓練のための研修の機会を提供し、職業能力の開発、向上を図るため、「独立行政法人雇用・能力開発機構」が設置し、職業訓練法人野田地域職業訓練協会が委託を受け、運営していますが、20年12月24日の閣議で、雇用・能力開発機構の廃止が決定され、「訓練センターの業務及び施設について、真に必要なかどうかを精査した上で、不要なものについては廃止するなどスリム化を図る」とされました。しかし、本年2月に、「方針が変更になり、実績の善し悪しにかかわらず、新法人ではすべての訓練センターの運営を22年度末をもって行わないこととなった」、「運営継続を希望する自治体等については、建物を譲渡する」との説明がなされました。譲渡条件などは、厚生労働省と財務省とで協議中ということ、現時点では具体的には何も



職業訓練センターの存続を強く要望

示されていません。これまでの利用実績からして野田市を中心としたこの地域にとっては是非とも必要な施設であり、憤りを感じていますが、存続を強く要望していきたいと考えています。

◆女流名人位戦

1月31日、関根名人記念館対局室で、第36期ユニバーサル杯女流名人位戦5番勝負・第2局が、清水市代女流名人と挑戦者の里見香奈倉敷藤花とで行われ、7時間半にも及ぶ大熱戦となりました。開催に際して地元関根金次郎支部の皆さんのご協力に感謝いたします。

◆ゆめ半島千葉国体

本年10月1日から4日まで開催の第65回国民体育大会パドミントン競技会を広く周知し、関心を持っていただき、市のスポーツの振興と発展を図るため、

2010年版ポスターカレンダーと広報用ポスターを作成し、希望する市民の方々や市内の公共施設、事業所に配布しました。なお、カレンダーとポスターの図案は、ゆめ半島千葉国体野田市ポスター図案募集に応募いただいた中から、最優秀賞を受賞された作品を使用させていただきます。

◆高校授業料実質無償化

22年4月からは、公立高校授業料が不徴収となり、私立高校なども就学支援金が創設される予定です。その結果、当市の育英資金のうち、高校生対象分には、役割を終えることになることから見直しを行うこととし、今議会に「野田市育英資金貸与条例の一部を改正する条例」を提案しています。

◆消防関係

21年中の火災発生件数は64件で前年より18件減少しています。火災による死者数は4人で昨年より3人減少しました。

内訳は、建物火災34件、林野火災3件、車両火災7件、その他の火災が20件です。

救急出場件数は、5千689件で、1日に約16件の割合で出場したこととなり、前年より159件減少しています。

平成22年度
予算概要

市内全域の浸水対策費や 「春風館道場の弓道場整備など」も

さらなる行政改革で厳しい財税状況に対応

一般会計や特別会計など総額784億7千102万円とする平成22年度予算が、第1回定例市議会にて審議されました。必要な財源の確保が厳しい状況の中で、市内全域の浸水対策や春風館道場の弓道場整備、保育所の待機児童対策、学童保育所の過密化解消などに取り組みつつ、さらなる行政改革を進め、経費の聖域なき見直しを行い、一般会計は対前年度比で5.3パーセント増の44億6千600万円となりました。本号では概要をお知らせします。

■予算規模

単位：千円、%

区分	平成22年度 当初予算	平成21年度 当初予算	増減額	増減率	
一般会計	44,466,000	42,246,000	2,220,000	5.3	
特別会計	国民健康保険計	18,095,000	16,835,800	1,259,200	7.5
	下水道事業計	3,249,000	3,876,000	△627,000	△16.2
	老人保健計	18,800	49,000	△30,200	△61.6
	用地取得計	160,000	109,000	51,000	46.8
	介護保険計	6,890,900	6,477,300	413,600	6.4
	次木親野井特定土地地区 画整理事業特別会計	413,000	437,000	△24,000	△5.5
	後期高齢者医療計	1,194,400	984,500	209,900	21.3
	小計	30,021,100	28,768,600	1,252,500	4.4
	水道事業会計	3,983,920	5,630,780	△1,646,860	△29.2
	合計	78,471,020	76,645,380	1,825,640	2.4

△は減を表す

■市税の内訳

単位：千円、%

区分	平成22年度 当初予算	構成比
市民税	9,951,095	44.3
固定資産税	10,277,232	45.7
軽自動車税	216,987	0.9
たばこ税	978,999	4.4
特別土地保有税	186	0.0
都市計画税	1,056,138	4.7
合計	22,480,637	100.0

平成22年第1回定例市議会にて、22年度の一般会計や7つの特別会計などの予算が可決されました。それぞれの予算は、一般会計が44億6千600万円、対前年度比で5.3パーセントの増、7つの特別会計が30億2千110万円、4.4パーセントの増、水道事業会計が39億8千392万円、2.2パーセントの減となり、全体で784億7千102万円、2.4パーセントの増となりました。



6月開設予定の春風館道場

一般会計の歳入では、市税は固定資産税の増が見込まれるものの、個人市民税、法人市民税の減が見込まれ、全体として1億4千600万円の減となる見込みです。一方で、地方交付税は4億千800万円の増、臨時財政対策債は5億700万円の増、国庫支出金も生活保護費、子ども手当などの扶助費歳出の増に伴い、17億7千万円の増が見込まれるものの、利子割交付金は2千万円の減、地方消費税交付金は2億6千700万円の減、自動車取得税交付金は2千万円の減が見込まれ、歳入の状況は厳しい状況にあります。しかし、22年度は、6月で合併後7年を迎えるとともに、20年度から後期基本計画としてスタートした総合計画に沿って、合併時に市民に約束した「行政サービスは基本的にその水準を落とさない」という新しい野田市の行政運

営の基本的な考えのもと、将来を見据えた予算編成となるように、行政改革の実施計画である「集中改革プラン」を確実に進め、経費の聖域なき見直しを行い、「市民が本当に合併してよかったと思えるまちづくり」を目指します。

■主な事業

◎総務費

コミュニティバス運行事業／国民体育大会競技種目別大会開催支援事業／市制施行記念行事／地域グリーンニューデール基金を活用した庁舎省エネ改修工事／安全安心ステーション等防犯活動支援事業／市議会議員選挙の経費など

◎民生費

◆社会福祉関係Ⅱ福祉のまちづくり事業／障害者施設支援給付費／障害者自立支援対策臨時特例事業／障害者総合相談・就労支援センター事業／国民健康保険税の税率改定を可能な限り抑制するため臨時的に制度外繰出金の増額など

◆高齢者福祉関係Ⅱ老人福祉施設建設助成金／地域密着型介護基盤緊急整備補助金／地域密着型施設等開設準備支援等事業補助金など

■歳入(一般会計)

単位:千円、%

区分	平成22年度 当初予算	構成比	平成21年度 当初予算	増減額
市税	22,480,637	50.6	22,626,516	△145,879
地方譲与税	452,800	1.0	462,000	△9,200
利子割交付金	58,918	0.1	80,000	△20,082
地方消費税交付金	1,157,382	2.6	1,424,166	△266,784
配当割交付金	21,584	0.0	23,719	△2,135
株式等譲渡所得割交付金	12,500	0.0	29,516	△17,016
ゴルフ場利用税交付金	194,100	0.4	205,307	△11,207
自動車取得税交付金	189,112	0.4	209,659	△20,547
地方特例交付金	257,867	0.6	246,463	11,404
地方交付税	3,030,393	6.8	2,612,783	417,610
交通安全対策特別交付金	24,399	0.1	25,356	△957
分担金及び負担金	566,805	1.3	556,144	10,661
使用料及び手数料	1,237,308	2.8	1,244,878	△7,570
国庫支出金	5,200,495	11.7	3,430,539	1,769,956
県支出金	2,441,345	5.5	1,756,671	684,674
財産収入	61,740	0.1	199,952	△138,212
寄附金	10,105	0.0	5,104	5,001
繰入金	690,467	1.6	774,869	△84,402
繰越金	750,000	1.7	860,000	△110,000
諸収入	1,177,343	2.7	1,189,758	△12,415
市債	4,449,700	10.0	4,282,600	167,100
歳入合計	44,466,000	100.0	42,246,000	2,220,000

△は減を表す

■歳出(一般会計)

単位:千円、%

区分	平成22年度 当初予算	構成比	平成21年度 当初予算	増減額
議会費	358,854	0.8	385,145	△26,291
総務費	4,459,997	10.0	4,508,959	△48,962
民生費	15,194,122	34.2	12,673,465	2,520,657
衛生費	4,084,449	9.2	4,112,847	△28,398
労働費	85,680	0.2	89,206	△3,526
農林水産業費	827,346	1.9	856,799	△29,453
商工費	498,913	1.1	544,126	△45,213
土木費	6,692,595	15.0	6,709,003	△16,408
消防費	1,691,871	3.8	1,745,528	△53,657
教育費	4,741,349	10.7	4,807,120	△65,771
災害復旧費	2	0.0	2	0
公債費	4,913,143	11.0	4,851,551	61,592
諸支出金	748,676	1.7	812,150	△63,474
予備費	169,003	0.4	150,099	18,904
歳出合計	44,466,000	100.0	42,246,000	2,220,000

△は減を表す

◆児童福祉関係Ⅱ子育てガイドブック作成/子ども手当/養育者支援手当/高等技能訓練促進費等/学童保育所過密対策として開設する第二学童保育所管理運営委託料の増額/保育所緊急整備事業補助金など

◆清掃関係Ⅱ不燃物処理施設建設事業/新清掃工場建設事業に係る環境影響評価等調査委託料/不燃ごみ仮置き場管理運営費など

◆用対策奨励金など

◎商工費
原油価格高騰対策等利子補給金/まちづくり会社設立出資金を含む中心市街地商業等活性化基本構想研究費/企業誘致奨励金/関根名人記念館事業費として男子名人戦分担金など

◎農林水産業費
玄米黒酢農法補助金/ブランド農産物認定シール作成/米飯給食供給事業整備補助/混合堆肥の運搬散布などにかかる費用/資源保全推進事業費など

◎土木費
◆道路橋りょう・河川関係Ⅱ浸水対策としての排水整備事業/合併関連事業での船形吉春線道路改良や江戸川左岸連絡道路をはじめとする生活道路等整備事業、川間駅北口歩道整備事業、阿部沼第一排水区六丁四反水路改修事業/舗装新設、河川整備事業など

◆区画整理関係Ⅱ愛宕駅周辺整備事業/野田市駅西土地区画整理事業/梅郷駅西土地区画整理事業/東新田土地区画整理事業など

◆街路関係Ⅱ梅郷西駅前線道路改良事業/鉄道高架事業/合併関連事業での愛宕駅東口交通結節点改善事業、川間駅北口駅前広場整備事業など

◆自然環境保護関係Ⅱ江川地区の自然環境整備事業など

◎消防費
自動体外式除細動器購入費/消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車購入費/消防団分団器具置場建設/消防救急無線デジタル化県域共同整備負担金など

◎教育費
◆学校関係Ⅱ合併関連事業での耐震補強事業、トイレ改修事業/北部小学校普通教室等整備事業/地域教育プラットフォーム事業など

◆社会教育・保健体育関係Ⅱ鈴木貫太郎記念館管理運営費として特別展の費用/文化会館空調設備改修工事/櫻のホール地上デジタル放送受信障害対策工事/春風館道場の弓道場建設工事/春風館道場指定管理委託料など

【問合せ】財政課

審議会から答申を受け

2つの「福祉計画」を策定

「地域福祉」「男女共同参画」の施策を充実



市では、さらなる福祉施策の充実を目指し、昨年度は「新エンゼルプラン(後期計画)」など3つの「福祉計画」に続き、「地域福祉計画」と「男女共同参画計画」の2つの計画も見直そうと、パブリックコメント手続などで皆さんの意見を伺ってきました。見直しには各審議会に諮問し、3月初旬の答申を受け、同月末に4月1日からの新計画を策定しました。

1 災害時の高齢者や障害者の避難対策支援なども

「地域福祉計画(改訂版)」

高齢者や障害者、児童などの各福祉分野の事業を進めるとともに、住民活動と公的なサービスとの連携も行うための指針として、市では、平成17年に「野田市地域福祉計画」を策定しました。

しかし、計画が21年度で終了することから、昨年12月、「野田市地域福祉計画審議会」(藤井浩会長)に、同計画の見直しを諮問し、3月4日、同審議会から答申がなされました。

答申では、21年度に実施した「市民アンケート調査」の結果を踏まえて、高齢者や障害者などを福祉の一方的な受け手として考

えるのではなく、地域で暮らす人全てが福祉の担い手であり、受け手であるという考え方に基

「パブリックコメント手続」

本格実施に皆さんのご意見を



市の基本的な方向性を示す計画や条例を策定する際に、事前に案を公表して、皆さんから意見を募集し、施策に反映させる「パブリックコメント手続」を、

市では平成19年度から試行的に導入してきました。

試行から3年、同制度を本格

づき、市民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向け、各種の社会福祉事業の施策を積極的に取り組むことを期待するとされています。

答申を受け、3月末に策定した改訂版の計画には、実際には

2 女性への暴力根絶や仕事と生活の調和実現なども

「第2次男女共同参画計画」

また、平成17年度に策定した「男女共同参画計画」に基づき、市では、市の審議会などの女性委員の登用率向上や、夫やパートナーからのDV(ドメスティック・バイオレンス)被害者支援などに取り組んできました。また、20年には全国でもいち

人で避難することが難しい高齢者や障害者の避難対策支援が重要と認識し、「災害時要援護者支援計画」を、新たに「地域福祉計画」にも反映させて、取り組んでいくこととしました。

【問合せ】社会福祉課

を諮問し、3月5日、同審議会から答申がなされました。答申では、「人権を大切にし、男女が互いに認め合い、それぞれの個性を生かした社会づくり」を新たな基本理念に掲げ、市民や企業などと連携を図りつつ、男女共同参画社会の実現を目指して施策を推進することとされています。

早く「第2次DV総合大綱」を策定し、配偶者暴力相談支援センターの業務を開始して、相談から自立までの支援を行っています。しかし、計画が21年度で終了することから、昨年8月、「野田市男女共同参画審議会」(古谷友子会長)に、第2次計画の策定

答申を受け、3月末に策定した第2次の計画では、基本目標を整理・統合し、新たに「女性に対するあらゆる暴力の根絶」「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」を位置付けて、各種施策に取り組んでいきます。

【問合せ】男女共同参画課

で、同条例案の素案は、募集期間中、行政管理課や、市役所といちいのホールの行政資料コーナー、各公民館、各図書館、市のホームページで閲覧できます。

提出方法は、任意の書式で直接行政管理課へ持参(☎・☒・☑を除く)か、各閲覧場所に設置する意見投函箱に投函していただくか、郵送(4月9日迄の消印有効)☎(7123-110

コメント手続条例(案)に対する意見」と明記し、〒278-8550野田市役所行政管理課へお送りください。

また、市のホームページからも、意見を提出することができます。

なお、いただいた意見の概要や、意見に対する市の考えなどは、個人情報を除いて市のホームページで公表します。

【問合せ】行政管理課

◆ファクスやホームページでも
募集期間は、4月9日迄まで

4月1日から

春風館道場の

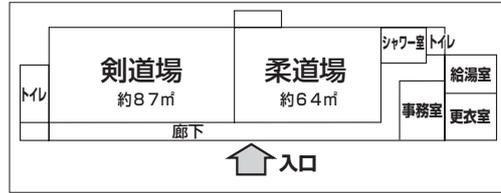
利用申込みを開始



武道の殿堂として、改修していた春風館道場を6月1日（9時から開場します。

柔道場と剣道場の利用予約は4月1日（13時から、先着順で開始します。

■春風館道場の平面図



■1時間の利用料金(面貸し)

区分	市民、市内在勤・在学者	左記以外
一般	80円	120円
利用者の半数以上が中学生以下	40円	60円

予約は、使用する日の2か月前から3日前の13時から17時まで

に、5月末までは電話で、社会

体育課へお申し込みください(休館日（、5月6日（を除く)。

障害者支援施設など利用者へ 傷害保険料・交通費の助成も

障害者の自立支援と負担軽減を目指して、平成19年度から市が独自に、傷害保険料や交通費の助成を行っています。

傷害保険料の助成は、市民か、市が援護する障害者で、障害者支援施設などに通所か入所している方を対象に、2千300円を限度に、支払った年間保険料の3分の1を支給します。

交通費の助成は、電車やバスな

なお、利用時間は9時から21時まで(年末年始は休館)で、施設は柔剣道だけでなく、生涯学習のサークル活動などに使用できます。

【問合せ】社会体育課 ☎7124-17930

5月23日は野田市議会議員選挙

任期満了に伴う野田市議会議員選挙を行い、28人の代表者を選びます。

告示日は、5月16日（で、投票日は5月23日（です。

また、野田市議会議員選挙の立候補予定者説明会を4月21日（13時30分から市役所8階大会議室で行います。

【問合せ】選挙管理委員会事務局

【問合せ】社会福祉課

民営駐輪場利用の学生に助成

市営と民営の駐輪場の料金負担の均衡を考慮し、市では市内の民営駐輪場の学生利用者に、市営の使用料との差額(月額上限500円)を助成しています。

市内に居住し、住民基本台帳に記載されているか、外国人登録原票に登録されている方で、通学・通園

福祉タクシ-の事業所を追加

高齢者や障害者の社会参加の機会を増やすことやスムーズな移動を目的として、市では福祉タクシ-制度を設けています。

4月からは、新たにリフト付ストレッチャー用の福祉タクシ-が利用できる事業所として「ウイールコ-ルセンター」(東京

農家で働きたい人に説明会開催

農家で働きたい方と労働力を提供してもらいたい農家が、自分の条件にあった相手と雇用関係を結ぶための手助けとして、

短期期間の労働(パート)を基本として、市では援農制度を進めています。

働きたい方と農家が、台帳に時間や報酬などの条件を記入し、農政課と農協の窓口で閲覧して、

のために21年10月1日から22年3月31日まで民営駐輪場を使用した学生か、その保護者は、4月1日（から4月30日（までに、領収証(原本)・学生証(コピー可)・振込先口座のわかるものを持参し、市民生活課へお申し込みください。

【問合せ】市民生活課

都台東区東駒形1-6-6 ☎0120-151-171)が増え、福祉タクシ-の事業所が39社(41営業所)となり、さらに利用しやすくなりました。対象者や利用方法などは従来と同じです。

【問合せ】高齢者は高齢者福祉課、障害者は社会福祉課

自分の条件に合った相手と交渉を行い、成立した場合は、雇用契約書を取り交わします。

◆今月26・27日に説明会を開催
農家で働きたい方を対象に、4月26日（14時から市役所5階511会議室、27日（14時から関宿中央公民館で説明会を開催します。

【問合せ】農政課

中学3年生までの子どもに

ひとり月額1万3千円を支給

平成22年度

次代の社会を担う子どもの健全やかな育ちを社会全体で支援するため、4月から国は「子ども手当」の支給を決定しました。

市では、手当受給の申請書を対象者がいる世帯主に4月上旬に郵送する予定です。

◆忘れずに申請手続きを

21年度に児童手当を受給していた方は、手続きが不要です。ただし、児童手当を受給していた方で、22年度に中学2、3年生に

なる子どもを養育している方は「額改定請求書」を、また、21年度に児童手当を受給していなかった方で、中学生以下の子どもを養育している方は、「認定請求書」を、9月30日

困までに児童家庭課、支所、各出張所へ申請し認定になった場合、22年4月にさかのぼって支給します。

◆ひとり親家庭の医療費助成を改正

子ども手当や公立高校の授業料無償化、私立高校の就学支援金の創設に伴い、4月からひとり親

家庭の医療費助成を改正します。

- ① 病院などで受診した際の保険診療にかかる医療費(通院費・調剤費)が、各々千円までと、入院時の食事・生活療養費標準負担額が助成対象外になります。
- ② 助成対象の医療費証明書の手数料1件につき200円を上限に助成します。
- ③ 父母のない児童の養育者(配偶者あり)の医療費は助成対象外になります。

◆ひとり親家庭の遺児手当を廃止

子ども手当の創設に伴い、義務教育終了前の児童を養育しているひとり親家庭への遺児手当を22年3月31日で廃止しました。

【問合せ】児童家庭課

シリーズ「まめバス」④ 21年度のまめバス利用者が減少 環境のためにも一層のご利用を



「市民の足」として定着している「まめバス」は、一昨年来の景気低迷の影響などで、利用者数が減少してきています。

平成21年度2月末までの各ルートの利用状況は、19年10月に運行を開始した新北・新南ルートが利用者数を伸ばしています

が、ほかの4ルートは利用者が減少してきています。

減少しています。

また、北・南以外の4ルートは1便平均が8人に満たない状況で、特に関宿城ルートが3・4人と少なくなっています。

◆環境にやさしいバスの利用を

バスは、自家用車に比べて多くの人が乗れる分、環境にやさしい乗り物ですが、利用者が少なけれ

ば、逆に排気量が大きい分、環境負荷が大きくなってしまいます。環境のためにも、さらなる利用をお願いします。

【問合せ】企画調整課

■平成21年度の利用状況 (平成21年4月～22年2月)

ルート	利用者数	前年度比	1日平均	1便平均
関宿城	13,579人	95.7%	41人	3.4人
北	151,257人	95.8%	461人	15.9人
新北	17,581人	106.6%	54人	7.7人
中	20,113人	96.8%	61人	6.1人
南	92,557人	98.7%	282人	17.6人
新南	17,703人	113.8%	54人	6.7人
合計	312,790人	98.2%	954人	11.6人

市制施行名人戦の対局観戦や前夜祭へご参加を

60周年記念事業

5月6日と7日に、市民会館で行う「第68期名人戦七番勝負」第3局の前夜祭参加者と、対局観戦者を募集します。

◆前夜祭 5月5日(土)18時からクリアビューゴルフクラブ&ホテル(瀬戸548)で。参加費7千円(中学生以下3千円)。先着120人。申込みは、4月5日(土)8時30分

分前から電話で商工課へ。

◆対局観戦 5月6日(日)の①9時から、②13時30分からと、5月7日(月)の③9時から、④13時30分から。各回15人。観戦時間は5分間程度。無料。

申込みは、4月21日(土)必着で、往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・観戦希望の日時(①～④のうち一つ)・返信用のあて先を明記し、〒278-8550野田市役所商工課「対局観戦」係へ郵送してください。

固定資産課税台帳などの閲覧や縦覧

平成22年度の固定資産課税台帳の閲覧や土地・家屋価格等縦覧簿の縦覧を行っています。

◆固定資産課税台帳の閲覧

4月1日(土)から(土)は除く)の8時30分から17時15分まで、市役所課税課、関宿支所、南・北・中央出張所で閲覧できます。

費用は、1件(枚)300円。納税義務者など(借地・借家人を除く)は、4月30日(金)まで無料です。

◆土地・家屋価格等縦覧簿の縦覧

4月1日(土)から30日(金)(土)は除く)の8時30分から17時15分まで、市役所課税課、関宿支所、南・北・中央出張所で閲覧できます。

申込みは、4月21日(土)必着で、往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・観戦希望の日時(①～④のうち一つ)・返信用のあて先を明記し、〒278-8550野田市役所商工課「対局観戦」係へ郵送してください。

お知らせします。

【申込みと問合せ】第68期名人戦野田市実行委員会事務局(商工課内)



羽生名人

三浦八段

◆価格に不服のあるとき

価格に不服のある方は、固定資産課税台帳に価格などを登録した旨の公示の日から、納税通知書の交付を受けた日後60日までに、「野田市固定資産評価審査委員会」に文書で審査を申し出ることが出来ます。

【問合せ】課税課土地係・家屋係

15

◆四代勝文齋作押絵行燈の公開

4月3日(土)～17日(土)9時～17時郷土博物館で、「助高屋高助の秩父庄司重忠(埼玉県)と市川小団次(のぶ(宮城県))の



助高屋高助の秩父庄司重忠

2点。圃同博物館 ☎7124-168 51

募集

◆野田市育英資金

市内に1年以上住所があり、経済上の理由で進学・在学することが困難な大学生が専門学校生(専門課程)。保証人必要。10人(多数の場合は書類選考)。貸与額(月額)は1万5千円。卒業後5年以内に返済(無利息)。申

◆交通安全推進隊(交通安全ボランティア)

通学路での街頭活動や高齢者の自宅訪問など。16歳以上(4月1日現在)の県内在住、在勤、在学の方で、月1回以上活動できる方。小学校区などを単位に5～20人程度で活動。希望者は4月

◆河川愛護モニター

活動内容は日常生活で気付いた利根川や江戸川、利根運河の情報や国土交通省に連絡。それぞれの河川付近に住む20歳以上の方。7月1日(土)から2年間。実費程度の手当あり。申込みは利根川は5月7日(土)までに利根川上流河川事務所目吹出張所 ☎7122-3014、江戸川と利根運河は5月14日(土)までに江戸川河川事務所管理課 ☎7125-7319へ

◆福祉カーの貸出し

障害者(児)・高齢者の社会参加促進を目的に、車いす対応リフト付ワゴン車と車いす対応スロープ付軽自動車を無料で貸出し。燃料費は自己負担。運転手なし。圃社会福祉協議会 ☎7124-3939

◆教育相談

子育てで心配なことなど。野田幼稚園 ☎7198-2075、関宿南幼稚園 ☎7133-11084、消費生活センター ☎7123-11084、男女共同参画課(市役所内) ☎5階 ☎7124-168、野田公民館(樺のホール3階) ☎2階 ☎7124-168、電話予約(電話相談も可)

◆外来療育相談

就学前の知的発達遅れなど。第1:3時～17時、希望で第2:4時～16時に集団療育。電話予約 ☎7122-2916

◆登記無料相談

相続登記や土地建物登記など。13日(土)9時30分～15時30分。圃市民相談室。前日までに問合せ先に電話予約。圃野田地区司法書士会、土地家屋調査士会 林 ☎7128-0061

聴神経腫瘍

音を認識するためには、外耳道、鼓膜、耳小骨、内耳(蝸牛)、聴神経、脳と音が伝わる経路があります。この経路のいずれかに障害が生じると聴となり。聴神経腫瘍とは内耳と脳を結ぶ「聴神経」に腫瘍が生じる病気です。まれな病気ですが、①突発性難聴として発症する、②片側の耳の「耳鳴り」や「難聴」

が進行性に増悪する、などにより年3、4人の患者さんが、私の医院でも見つかります。癌ではなく良性の腫瘍ですが、小脳橋角部という脳幹部に生じる腫瘍で、大きくなると全摘手術が困難になると同時に、手術で顔面神経麻痺を生じる事もあります。診断はMRI検査が最も有効で、発見されたときは総合的な治療方針の選択と決定も重要です。セカンドオピニオンを有効に利用してください。(Y・Y)

相談・その他

◆難病見舞金制度が4月から

市税などの納期(4月)

4月30日(土)までの納期の市税などは、次のとおりです。

◆固定資産税・都市計画税(1期)

4月12日(月)までに通知書が届かないときは課税課へお問い合わせください。また、最寄りの金融機関で納めてください。

【問合せ】

取税課・課税課

◎訂正とお詫び...市報3月15日号リサイクル情報コーナーに掲載しました4月のごみ収集と資源回収の日程に誤りがありました。26日(土)27日(日)28日(月)と記載しましたが、正しくは28日(日)29日(月)30日(火)です。訂正し、お詫びいたします。◎ファミリー・サポート・センター入会説明会...4月8日(日)10時～正午総合福祉会館で、育児のサポートをしたい方と受けたい方。事前に野田市ファミリー・サポート・センター ☎7126-5005 ☎7126-5051へ

野田・ふるさとめぐり
関根金次郎の碑



大正10(1921)年に「十三世名人」となり、全国棋界の統一や実力名人制の実現など、近代将棋の基礎を築きあげた関根金次郎(1868~1946)は、東宝珠花の出身です。いちいのホールから県道に沿って北に歩くとすぐ名人の生家が、さらに進むと名人の墓所もある共同墓地があります。墓地内には大正14(1925)年に、地元の人たちから

関根名人ゆかりの地で名人戦も

名人になった記念に銅像を建てたい、という提案を辞退する代わりに設計していただいた将棋の駒の形をした、名人自書の「関根金次郎の碑」があり、碑に向かって左には、名人の墓もあります。5月には実力制となってから68回目の名人戦第3局が市民会館で行われます。(観戦は15面参照)〈アクセス〉まめバス「北新北・関根城」ルートいちいのホール下車徒歩約3分・朝日バス「日枝神社」下車徒歩約1分

伝言版

伝言板は、市民などの自主的な活動(会員募集・催し物)の情報コーナー。掲載を希望する方は、秘書広報課広報広聴係までご連絡ください。

野田市制 60周年記念事業

◆野田を体感！野田を開拓！新たな魅力の創造を目指して 4月25日(日)、5月23日(日)、6月20日(日)園芸福祉ファーム「おーい船形」で。全3回。野菜の植え付けや収穫、生き物観察など。全回出席できる小学生とその保護者。先着100人。申込みは4月5日(日)~15日(日)に専用用紙を取り寄せ、郵送かファクスで〒278-10035中野台168-1(社)野田青年会議所 ☎71222-192

講演会・教室

◆初めての社交ダンス無料体験教室 ①南コミュニティ会館：4月5日(日)正午~13時30分、4月13日(日)と14日(日)は15時~16時30分。②中央コミュニティ会館(樺のホール内)：4月5日(日)15時~16時30分、4月6日(日)と12日(日)は13時~14時30分。動きやすい靴を持参。いずれも当日会場受付。☎海老原 ☎712516397

56・☎71222-9249へ

◆心臓ペースメーカー勉強会

4月11日(日)13時~16時アミューゼ柏(柏市)で。「ペースメーカーのおはなし」がテーマ。資料代千円(付添者不要)。当日会場受付。☎日本心臓ペースメーカー友の会千葉支部 ☎043(263)7744

◆ハワイアンフラとタヒチアン体験教室

4月15日(日)、22日(日)10時~正午東部公民館で。60歳未満の方。参加費1回500円。申込みは4月14日(日)までに桑原 ☎090-1850-6198へ

◆プリプリザードフラワーアレンジメント教室

4月18日(日)10時~正午北コミュニティ会館で。母の日用のプレゼント作り。先着15人。材料代3千300円。申込みは4月5日(日)~15日(日)に柴田

◆源氏物語入門

4月20日(日)から毎月第3(日)9時30分~11時樺のホール2階で。上原作和氏(明星大学教授)による解説。資料代など1回千円。申込みは4月5日(日)~19日(日)に笛木 ☎712917439へ

◆アロマセラピーを楽しむ会

4月22日(日)10時30分~正午南部梅郷公民館で。美肌クリーム作り。先着8人。材料代千600円。申込みは4月5日(日)~16日(日)に岩井 ☎090-3207-8358へ

◆新体操体験講座

4月28日(日)16時~18時30分総合公園体育館で。4歳~小学6年生。先着20人。費用500円。申込みは4月5日(日)から又吉 ☎080-1120-8263へ

まだ外国が遠い憧れだった1960年代。切手蒐集は世界と繋がるワクワクする趣味のひとつでした。精緻で美しくデザインされた当時の切手千154枚と奥深いコラムが時を忘れさせてくれます。



「切手帖とピンセット」加藤郁美・著 国書刊行会

New Books

せきやど図書館の推せん図書
興風図書館 ☎7123-7611
南図書館 ☎7125-7981
北図書館 ☎7129-8811
せきやど図書館 ☎7198-4946



「みつけて！うっかりこびととカメレオン」イエルカ・コダマ・著 PHP研究所

旅が大好きなこびと・うっかりさんは、仲良しのカメレオンといろいろなところへ出かけます。話を追いつながらたくさんの落し物を探したり、クイズに答えたり、子どもと一緒に楽しめる絵探し絵本です。

月2日(日)〜4日(日)10時〜正午
本ミルクコミュニティ(株)野田
工場。手すきはがきや紙パッ
ク工作、バター作り。家族で参加
できる方。申込みは事前に同社P
R担当 ☎7122-2246へ

イベント

◆絵手紙ゆうゆう会作品展 4
月3日(土)〜10日(日)8時30分〜19
時(初日は正午から、最終日は
15時まで) 市役所ふれあいギヤ
ラリーで。約60点。岡木村 ☎7
122-1815

◆ゆう&みい ①育児相談日:
4月9日(金)10時30分〜正午。0
〜3歳の親子。先着5人。②育児

わんぱく登場

あんな
南杏菜ちゃん
(17.9.14生)



◎のだったクイズ当選者:3月1日号の正解は「かわまえぎ」でした。95人の正解者の中から抽選の
結果、当選者は飯野三津子様、須田玲子様、田口美春様、山口信由様、山谷みね子様(五十音順)です。

のだったクイズ



【問題】マス目の中に言葉を埋め、
二重ワクの中の文字をAからF
の順に並べて答えを作ってください。
ヒント:今号の15ページ
に答えがあります(出題:秘書
広報課・参考:大辞林)。
【タテのカギ】
①今年、千360人が市内の小学校に。
②口に入れるとあまかったり、す
っぱかったり。③神奈川県西南端
の温泉街。④印、印鑑。
【ヨコのカギ】
①七色。②暑いときやぞっとし
たときに。③英語ではドリーム。
④人工の水路。⑥ぶどうの果汁

①		C		②		E
			③		A	
④		D				⑤
			⑥		B	F



を発酵させたお酒。⑦最大のほ
乳類。
【応募方法】官製はがきに4月15
日(必着で、答え(ひらがなでも
カタカナでも可)、郵便番号、住所
氏名、年齢、電話番号、市報に対す
るご意見を明記し、〒278-8555
0野田市役所秘書広報課「のだつ
こクイズ」係まで。正解者の中か
ら抽選で5名様に「図書カード」
を進呈いたします。
正解と当選者は5月1日号で発
表します。なお、当選者の方は氏名
を紙面に掲載させていただきます
ので、ご了承ください。

◎市報のだにお子さんの写真を「わんぱく登場」や「わが家
の天使」のコーナーで紹介。事前に秘書広報課広報広聴係へ



りくと
斎藤陸人<ん> (19.12.17生・左)
たいち
斎藤大地<ん> (18.1.4生・右)
たくみ
斎藤拓実<ん> (21.10.3生・中央)

わんぱく登場

の日:4月12日(日)10時〜11時30
分。③おしゃべり会:4月21日(日)
10時30分〜11時30分。0〜3歳
の親子。いずれもゆう&みいチ
ヤイルド館で。費用50円。③は
当日会場受付。①は事前に☎ゆう
&みい ☎7124-1367へ
◆つくしんぼミニコンサート
「世界中に平和が行きわたるま
すように」 4月9日(金)12時30
分〜13時市役所1階つくしんぼ
で。「五木の子守唄」や「ピース
君世界を廻る」など。当日会場
へ。岡市役所つくしんぼ

◆写遊のつどい写真展 4月11
日(日)〜18日(日)9時〜17時15分
(初日は11時から、最終日は15
時まで) 市役所ふれあいギヤラ
リーで。全紙や半切約50点。岡
中 ☎7122-4960



北斎 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏
1489年 7120円
は事前に ☎
1489へ

◆北斎富嶽三十六景展 4月14
日〜7月11日(日)10時〜17
時(入館は16時まで)(財)茂木本
家美術館で。
入館料700円
(小中学生
400円)。予約
は事前に ☎
7120-
1489へ

◆千葉県書作家連盟展 4月14
日(日)〜18日(日)10時〜17時(最終
日は16時まで) さわやかちば県
民プラザ(柏市)で。約150点。岡
中 ☎7125-4359

◆さくらそう展示会 4月16日
(日)〜18日(日)9時〜17時(最終日
は15時まで)興風会館で。約300鉢。
岡宇佐見 ☎7138-2144
◆清水公園早朝探鳥会 4月18
日(日)7時30分清水公園駅西口集
合、10時30分解散。小学生以上
(小学生は保護者同伴)。費用200
円。観察用具と筆記用具を持参。
当日会場受付。岡中 ☎712
3-2813
◆アースデイながれやま・のだ
4月24日(日)10時運河水辺公園
時計台の下集合(流山市)、12時
30分解散予定。ごみ拾い。当日
会場受付。岡中 ☎715
7-3802へ

4-1914

野田物語

童謡作曲家・山中直治⑨

作品や手紙から

直治の時代を読み解く

山中直治は、島田芳文をはじめ、野口雨情、北原白秋、斎藤信夫、市原三郎など、著名な作詞家の作品に曲をつける一方で、「ゆりかごの歌」「重田なみ子」白雲（永瀬織枝）、「四つ葉」（戸澤とみ子）など、当時の生徒の詩に曲をつけている例があります。

また、直治自身も昭和2（1927）年2月9日に「松のみどり」、同3（1928）年1月18日「この春に」など数曲の作詞も手がけていましたが、直治の詩には、当時の野田尋常高等小学校（現在の中

治」と書かれていることから、間違いないようです。一方、温泉といえは、福島県安達郡嶽温泉（現在の岳温泉）の旅館から、直治宛てに届いた手紙がありました。書面には、東京から同温泉までの交通手段や効能、宿泊料金、日付などが書かれていましたが、年代は不明でした。しかし、記載されていた宿代の記録から、昭和12（1937）年ごろの手紙であること、また同11年11月20日付で弟宛てに出した手紙には「…俺れの病状は相変わらずだ。然し少しはよくなつて居る…」とあることから、おそらく同11年の7月、直治自身が療養のために問い合わせた手紙の返事だと考えられます。

林間学校へ行つたことが分かります。歌詞に「高くそびゆる蔵王山、楽しい青根夏期学校」とあることや、同作品をはじめ21曲を収録したガリ版刷りの唱歌集「青根夏期温泉学校」には、「昭和九年度青根夏期温泉学校教材・指導者山中直

治」と書かれていることから、間違いないようです。一方、温泉といえは、福島県安達郡嶽温泉（現在の岳温泉）の旅館から、直治宛てに届いた手紙がありました。書面には、東京から同温泉までの交通手段や効能、宿泊料金、日付などが書かれていましたが、年代は不明でした。しかし、記載されていた宿代の記録から、昭和12（1937）年ごろの手紙であること、また同11年11月20日付で弟宛てに出した手紙には「…俺れの病状は相変わらずだ。然し少しはよくなつて居る…」とあることから、おそらく同11年の7月、直治自身が療養のために問い合わせた手紙の返事だと考えられます。

なお、差出元の港屋旅館は同55年11月に営業を終えたそうです。



「温泉学校の歌」が収録された唱歌集

度青根夏期温泉学校教材・指導者山中直



岳温泉の旅館から直治へ

※文中敬称略（5月1日号へつづく）

【取材協力】岳温泉観光協会

4月の休日当番医

休日当番医での診療時間

外科・産婦人科 = 9時～22時（ただし16時～19時は除く）

内科 = 9時～16時（19時～22時は急病センターで行います）

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
4日(日)	門倉医院(☎7124-5311)	たんぼぼこどもクリニック(☎7126-8118)	小張総合病院(☎7124-6666)
11日(日)	山崎外科内科(☎7122-2359)	東葛飾病院(☎7196-1166)	アイレディースクリニック(☎7137-7661)
18日(日)	西村クリニック(☎7123-0050)	関宿中央医院(☎7198-5108)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
25日(日)	しばやま整形外科(☎7120-5355)	青木クリニック(☎7198-7864)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
29日(木)	小張総合病院(☎7124-6666)	大槻医院(☎7127-3424)	川間太田産婦人科医院(☎7127-1135)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272:コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認してください。

※休日当番医の変更…市報3月15日号健康ガイドで掲載の4月4日回の内科医がたんぼぼこどもクリニックに変更となりました。

急病センター

☎7125-1188

▼内科(小児科) = 19時～22時(毎日)

▼歯科診療 = 9時～12時(休日)

▼今月号の市報では、今年度を実施する主な事業内容や「地域福祉計画」、「男女共同参画計画」などの福祉関係の長期計画が策定され、スタートすることなどを載せています。また、今年の5月3日は、野田町、旭村、梅郷村、七福村が合併し県内8番目の市として誕生し60年を迎えます。この間には、福田村、川間村そして関宿町との合併を経て今日に至るなどの、多くの変化があり、これからいろいろなことがあると思いますが、皆さんと共に一歩一歩前進し、素晴らしい市を創られたいと思います(か)

編集後記

市の木



けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり

人口と世帯(22.3.1現在) ●人口=157,194人(-55) 男=78,976人(-3) 女=78,218人(-52) ●世帯数=61,168世帯(+4) ●市の面積=103.54km²

市報のだ 第1065号 平成22年4月1日号/発行=野田市(〒278-8550 野田市鶴奉7番地の1・☎07125-1111)/編集=企画財政部秘書広報課